



2015年4月6日

各位

会社名 マックスバリュ東海株式会社
 代表者名 代表取締役社長 神尾啓治
 (コード番号: 8198 東証第二部)
 問合せ先 経営管理本部長 高橋 誠
 (TEL. 055-989-5050(代))
 当社の親会社 イオン株式会社
 代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田元也
 (コード番号: 8267 東証第一部)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2015年2月期において、下記のとおり特別損失を計上するとともに、2014年4月8日に公表した2015年2月期の業績予想を修正いたしますのでお知らせします。

記

1. 特別損失の計上

減損損失	869百万円
その他	10百万円
特別損失合計	879百万円

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、第3四半期までの計上額を含め、店舗に係る減損損失869百万円を計上いたします。その他の計上額10百万円を含めた特別損失の合計は879百万円となる見込みです。

2. 業績予想の修正について

(1) 2015年2月期 連結業績予想の修正 (2014年3月1日~2015年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	211,440	3,570	3,500	1,340	75.39
今回修正予想 (B)	208,666	3,264	3,376	1,268	71.36
増減額 (B-A)	△2,774	△306	△124	△72	
増減率 (%)	△1.3	△8.6	△3.5	△5.4	
(ご参考) 前期実績 (2014年2月期)	201,849	3,212	3,250	1,576	88.76

(2) 2015年2月期 個別業績予想の修正 (2014年3月1日~2015年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	208,680	4,000	3,940	1,600	90.05
今回修正予想 (B)	206,615	3,744	3,840	1,546	87.01
増減額 (B-A)	△2,065	△256	△100	△54	
増減率 (%)	△1.0	△6.4	△2.5	△3.4	
(ご参考) 前期実績 (2014年2月期)	200,911	3,629	3,668	1,827	102.88

(3) 修正の理由

個別業績につきましては、消費増税に伴う節約志向の高まりや多様化するお客さまニーズに対応すべく、価格政策の強化、小容量商品や地域商品の拡充に加え、WAONを軸とした販促企画による来店頻度の向上に努めてまいりました。また、販売費及び一般管理費は継続的な経費削減効果により既存店ベースでは昨年を下回る見通しであります。この結果、通期の個別業績は対前期比営業収益102.8%、営業利益103.2%、経常利益104.7%となる見通しであるものの、当期純利益におきましては特別損失8億79百万円の計上に加え、前期において合併により繰延税金資産2億39百万円を計上したことなどにより対前期比84.6%となる見通しであります。

業績予想に対しましては、既存店の売上高が当初計画を下回る見通しであることなどにより、2014年4月8日に公表した業績予想に対し営業収益99.0%、営業利益93.6%、経常利益97.5%、当期純利益96.6%となる見通しであります。

連結業績につきましては、連結子会社のマックスバリュ広州が新たに2店舗を開設し3店舗体制となり、新設店舗を中心に軌道化を図っておりますが業績は当初計画を下回る見通しであります。

これらの結果、通期の連結業績は対前期比営業収益103.4%、営業利益101.6%、経常利益103.9%、当期純利益80.4%、業績予想に対しましては、2014年4月8日に公表した業績予想に対し営業収益98.7%、営業利益91.4%、経常利益96.5%、当期純利益94.6%となる見通しであります。

以上の理由により、2015年2月期の業績予想を修正いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって業績予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上